

概要

アーケードゲーム基板から出力される CSync 信号はブラウン管で表示することを前提にしているためか、若干癖のある信号を出力している場合があります。そのような CSync 信号をこの回路を通すことにより、ある程度正常な CSync 信号に変換する基板です。

この CSync Cleaner 基板は、TAITO F3 システム基板と FRAMEMEISTER(フレームマイスター)XRGB-mini の組み合わせで正常に表示されるように調整してあります。

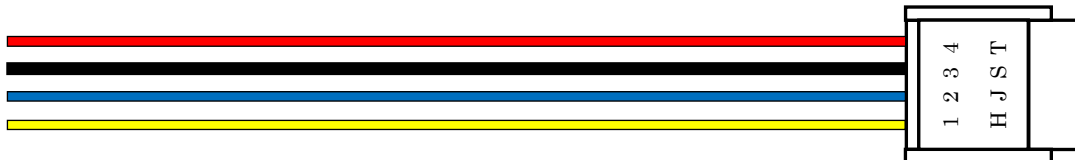
内容物

- CSync Cleaner 基板
- 接続用ケーブル(4pin)
- 説明書(本書)



接続方法

付属している 4pin のケーブルを使用してアーケードゲーム基板と RGB コンバータの中間に入れる形で接続を行います。



コネクタ(P1)のピンアサイン

4pin のコネクタのピンアサインは

1. 4pin : **赤** = +5V
2. 3pin : **黒** = GND
3. 2pin : **青** = CSync Out (モニターやアップスキャンコンバータへ)
4. 1pin : **黄** = CSync In(アーケードゲーム基板からの CSync を繋いでください)

となっています。対応した箇所へ半田付けなどを行い接続してください。すでに圧着してあるケーブルは AWG22 です。

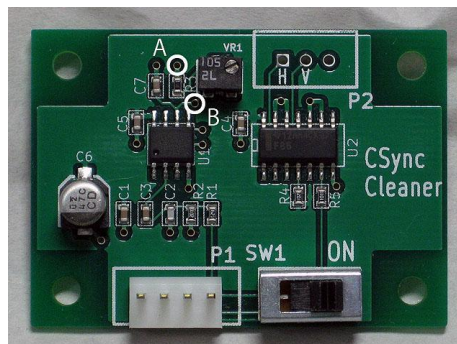
！ 注意 ！

赤と黒の電源は絶対に間違えないように注意してください。間違えると部品が燃えます。

機能説明

SW1 について

SW1 を ON にすると、この CSync Cleaner を通った信号が CSync Out に出力されます。逆側に変更することによりアーケードゲーム基板からの CSync がそのまま CSync Out に出力されますが、CSync Cleaner 回路へ信号は入力されますので、アーケードゲーム基板が出力している CSync 信号とは完全に同じではありません。この回路を完全に切り離す場合は回路自体を取り外してください。



コネクタ(P2)について

未実装になっているコネクタ(P2)からは HSync と VSync と GND が出力されています。他の回路へ流用するために出力していますが、コネクタは取り付けていません。2.5mm ピッチの適当な物を付けるか、JST NH の 3pin(B3P-SHF-1AA [垂直], BS3P-SHF-1AA[直角])などを取り付けてください。

VR1 について

基板上にある可変抵抗 VR1 は TAITO F3 システム基板と FRAMEMEISTER(フレームマイスター)XRGB-mini の組み合わせで正常に表示されるように調整してありますが、この抵抗値を調整することにより正常に映る基板があるかもしれません。もし、正常に映らない場合はこちらの VR1 を精密ドライバーなどで調整してみてください。

VR1 の再調整

VR1 を調整中に大きくずれた値に変更した場合、画面に全く表示されなくなることがあります。そのような場合は下記画像の○の箇所にあるピア A,B 2 点間の抵抗値をテスターなどで測定し、681k Ω になるように VR1 の調整を行ってください。

681k Ω にすると画面上部が歪むことがありますが、正常に表示出来るようになります。この状態から VR1 の抵抗値を増減して画面上部の歪みが無い状態に調整してください。

保証期間・サポートについて

本基板の保証期間はご購入日から 6 ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。

ただし、保証期間であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は修理費の請求を行いますので、あらかじめご了承ください。

製品内容などについてのご質問・修理のご依頼は support@ntls.jp に連絡をお願いいたします。